

相談窓口 ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。(秘密厳守・無料)

DV相談	和泉市DV相談 (和泉市人権・男女参画室)	☎0725-99-8207 ※(月)~(金)10:00~16:45(祝日・年末年始を除く) 【面接相談】事前にご予約ください。
	大阪府女性相談センター	☎06-6949-6022 ※9:00~20:00(祝日・年末年始を除く) 24時間 ☎06-6946-7890 FAX専用 ☎06-6940-0075 外国人専用 ☎06-6949-6181 ※(月)~(金)9:00~17:30(祝日・年末年始を除く)
	大阪府岸和田子ども家庭センター	☎072-441-7794 ※(月)~(金)9:00~17:45(祝日・年末年始を除く)
	和泉警察署	☎0725-46-1234 (24時間対応) ※緊急の場合は110番
女性の ための 総合相談	モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) ※祝日・年末年始を除く	電話相談専用 ☎0725-57-7900 ※昼間:第1~第4(水)10:00~12:00/13:00~15:00 ※夜間:第1~第4(木)18:00~20:00 【面接相談】事前にご予約ください。 〈カウンセリング〉 実施日:第2・第4(火)13:00~17:00 (50分間) 〈法律相談〉 実施日:第4(火)13:00~16:00 (25分間) 予約・問合せ用 ☎0725-57-6640
	ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)	電話相談専用 ☎06-6937-7800 ※(火)~(金)16:00~20:00/(土)・(日)10:00~16:00 【面接相談】事前にご予約ください。 〈カウンセリング〉 実施日:(火)~(金)17:00~21:00 (50分間) (土)・(日)10:00~18:00 予約・問合せ用 ☎06-6910-8588
	ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)	男性相談専用 ☎06-6910-6596 ※第2・第3(土)及び第1・第4(水)16:00~20:00 (祝日・年末年始を除く)
男性のための 電話相談	ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)	男性相談専用 ☎06-6910-6596 ※第2・第3(土)及び第1・第4(水)16:00~20:00 (祝日・年末年始を除く)
総合相談	ゆう・ゆうプラザ(和泉市立人権文化センター)	☎0725-44-0030 (総合生活相談/進路に関する相談や人権相談も) ※9:00~17:15 (年末年始を除く) 〈カウンセリング〉 予約制ですので、事前に電話でご予約ください。 ※実施日:第2・第4(火)13:00~16:00 (祝日の場合は振替)
セクハラ相談 ・女性相談	大阪府総合労働事務所	☎06-6946-2601 ※(月)~(金)9:00~17:45/第1~第3・第5(木)9:00~20:00 大阪府総合労働事務所 南大阪センター
セクシュアル ・マイノリティ 相談	よりそいホットライン(社会的包摂サポートセンター)	☎0120-279-338 ※24時間年中無休 ※ガイダンスが流れたら4番を押してください。 性別への違和感や同性愛の悩みなどセクシュアル・マイノリティ、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)でお悩みのご本人はもちろん、家族、友人等からのご相談も受付けています。ちょっとした悩みでも、ためらわずお気軽にご相談ください。
その他	※他の相談窓口については、和泉市ホームページをご覧ください。 相談あんない/和泉市ホームページ http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kurasitetu/soudan/	

モアいずみのご案内




〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号
TEL.0725-57-6640 FAX.0725-57-6643
利用時間 窓口業務 9:00~17:15
休館日 年末年始(12/29~1/3)

モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)は社会のあらゆる分野に男女がともに参加参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。

- 学ぶ 各種講座を開催し、男女共同参画社会づくりを支援しています。
・男女共同参画社会づくり講座
・市民講師講座
・オアシス助成金事業関連講座 など
- 集う 男女共同参画を推進する個人やグループの交流の場をご用意し、市民のネットワークづくりを支援します。
- 図書 図書コーナーでは、男女共同参画に関する図書や講座のチラシ、役立つリーフレットなどを置いています。(和泉市内にお住まいの方、通勤・通学されている方は、どなたでも借りることができます)
- 相談 女性が抱える様々な悩みを面接(予約制)や電話で相談できます。(秘密厳守・無料)

DV相談窓口

DV相談ナビ 0570-0-55210 (全国共通)
最寄りの相談機関の窓口に自動転送されます。
和泉市女性相談員によるDV相談
専用電話 0725-99-8207 (月~金10時~16時45分)



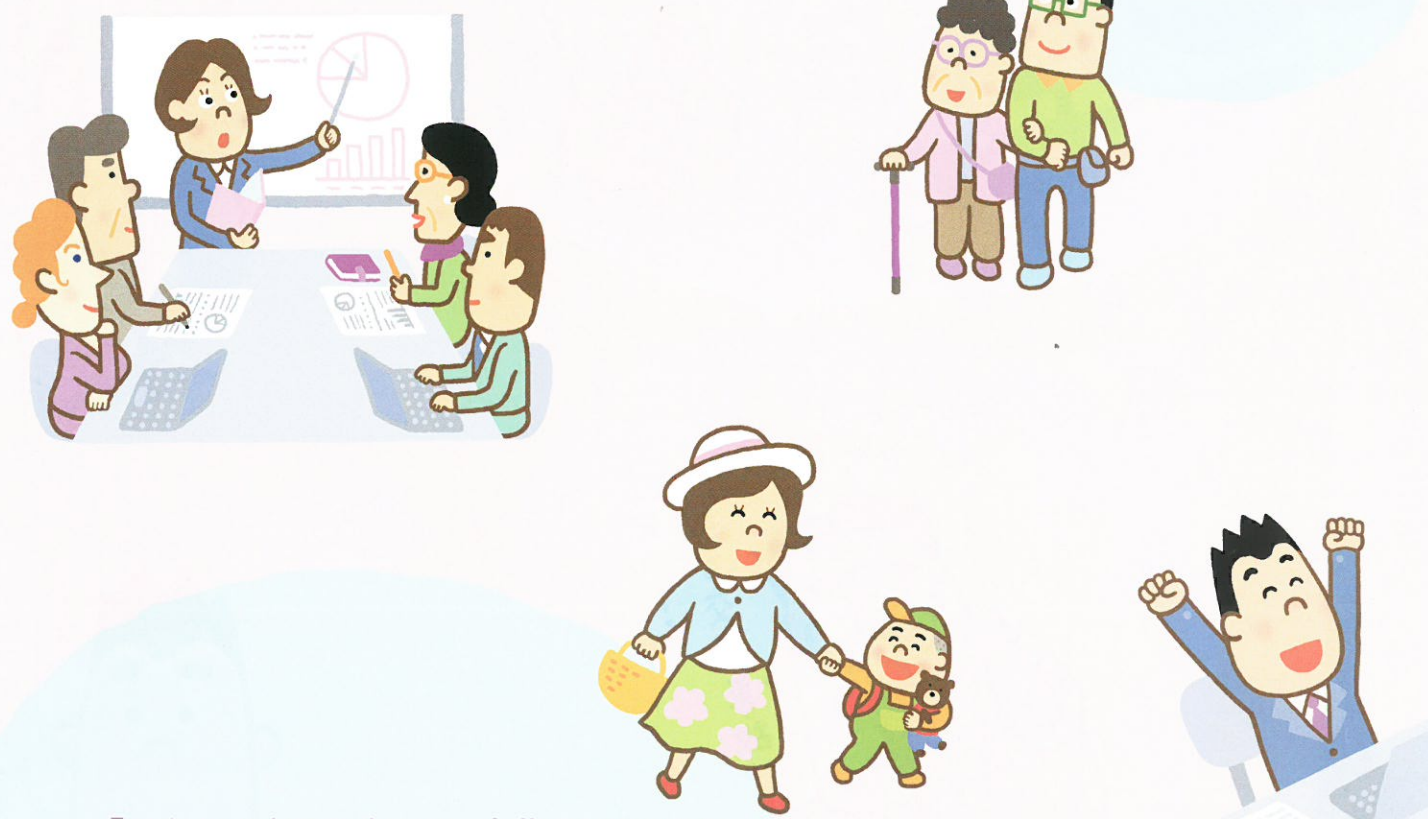
大阪府女性相談センターDV電話相談 06-6946-7890 (24時間)
大阪府岸和田子ども家庭センター 072-441-7794 (月~金9時~17時45分)
緊急の場合は110番へ!

メモ

制作 令和元(2019)年11月 和泉市総務部人権男女参画室 〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号 ☎0725-99-8116(直通)



和泉市男女共同参画啓発冊子 だれもが幸せを感じられる社会のために



「男女共同参画社会」って、言葉は聞くけれど、
具体的なイメージがよくわからない、と感じていませんか?
「男だから、女だから」と制限されたり、きゅうくつに感じることをなくして、
だれもがひとりの人として幸せを実感できる社会にしていこうってことなんです。
自分の生活や社会のできごと、ちょっと見渡してみませんか。



和泉市

1/5冊1冊3200部作成し一部あたりの単価が61円です。

WLB 仕事も個人の生活もたいせつ

キーワード

働き方改革 だれもが働きやすい職場



後輩が育児休暇を取りました。

男のくせに
去育休か…

1

後輩、復帰。



この会社で
よかったです。
よし、がんばるぞー

2



そんなある日、
私に突然の転機。

えっ！
母が交通事故!?

4

母の介護をするため
短時間勤務をすることに
なりました。



この会社で
よかった…



働き方改革
やっているな



ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは

ワーク・ライフ・バランスとは、働く人が「仕事」も「生活」(育児や介護、趣味、地域活動など)も充実させて人生を楽しむことをめざす働き方、生き方のこと。

バランスのとりの方は働き方や暮らし方で異なり、独身期、子育て期、中高年期など人生の段階によっても変化します。

家事や子育てと仕事を両立して働き続けたいと思うのは女性だけとは限りませんし、だれにとっても仕事と生活の両方が充実してこそ人生は豊かになります。

一人ひとりの状況に応じた働き方ができるように、在宅勤務や短時間勤務などの取組も広がってきています。

働く人と企業がともに取り組みましょう

働く人のワーク・ライフ・バランスを支援することは、企業にもメリットがあります。

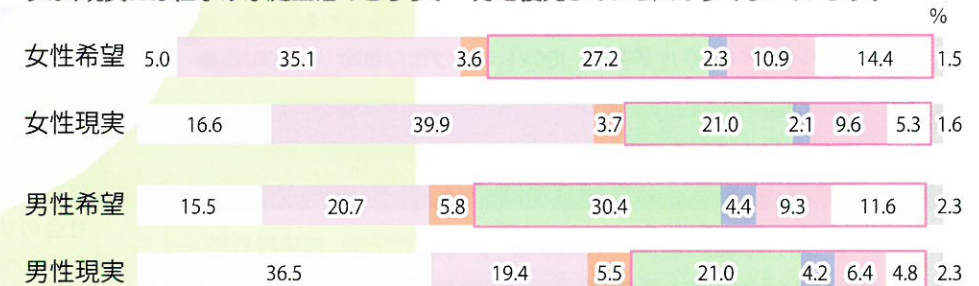
- 働く人の健康が保たれ、満足度が高まります。
- 働く人の労働意欲や生産性の向上につながります。
- 企業イメージが良くなり、優秀な人材の確保が期待できます。

ワーク・ライフ・バランスは、会社と働く人の双方が仕事の無駄を見直したり、効率化する工夫を考えて実行することで、仕事以外に使う時間を生み出すことから始まります。

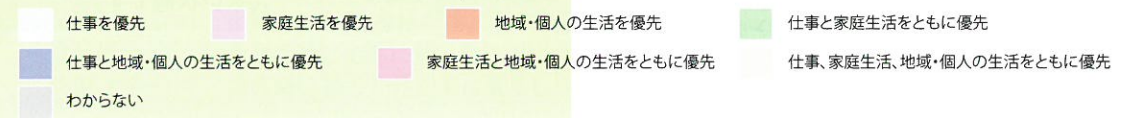
それぞれの立場でできることに取り組むことで、ワーク・ライフ・バランスが実現する働きやすい職場をつくりましょう。

仕事と生活のバランスとれていますか？

男女とも、仕事と家庭生活や地域・個人の生活の複数を優先したいと希望する人は多いですが、現実には仕事か家庭生活のどちらか一方を優先している人が多くなっています。



資料:「男女共同参画社会に関する世論調査」(内閣府、令和元年9月)



世界の目標、男女の不平等をなくそう!

キーワード

ジェンダー平等

エスディーゼーズ

最近、注目されているSDGsは、貧困や紛争、気候変動など地球上の人びとが直面する数多くの課題を解決するために、世界の国々が合意した「持続可能な開発目標」です。格差や貧困など、日本でも早急な解決が求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

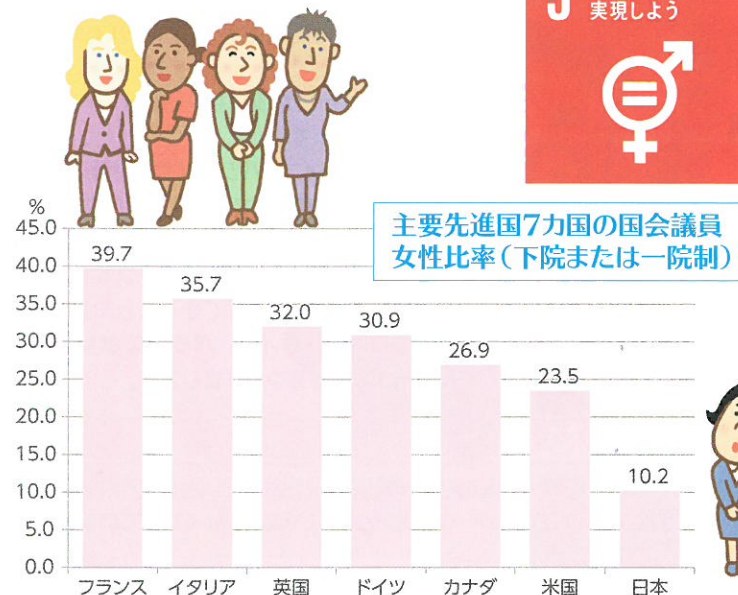


SDGsとは? 2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす17の目標」。「誰ひとり取り残さない」をキーワードに、国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもを含めたすべての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。

女性国会議員比率193カ国中165位※(衆議院)

SDGsの目標のうち「ジェンダー平等を実現しよう」は、日本で大きな課題のひとつです。

政治や経済分野における女性の参画は、世界に大きく後れをとっています。女性国会議員比率の世界平均は24.3%(2019年1月)で、日本はその半分にも達していません。

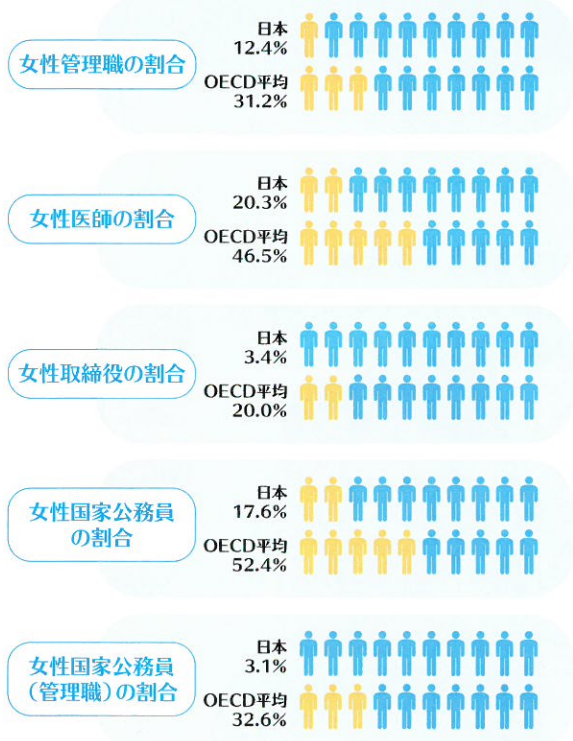


資料: 2018年「列国議会同盟」
※世界各国の議会で構成する「列国議会同盟」の2018年版資料による

だれもが暮らしやすく活力のある社会のために

社会的な課題の解決には、当事者の声を聴くことや、価値観や経験の異なる多様な人びとがさまざまな場面での意思決定に参画することが必要です。男女の不平等な状態をなくすことは、持続可能で活力のある社会をつくることにつながります。

日本とOECD平均データの比較



Source: OECD(2017), The Pursuit of Gender Equality: An Uphill Battle, OECD Publishing, Paris.
OECD(経済協力開発機構)は、国際経済全般について協議することを目的とした国際機関で、現在36カ国が加盟。

社会でもっと活躍できる日本の女性

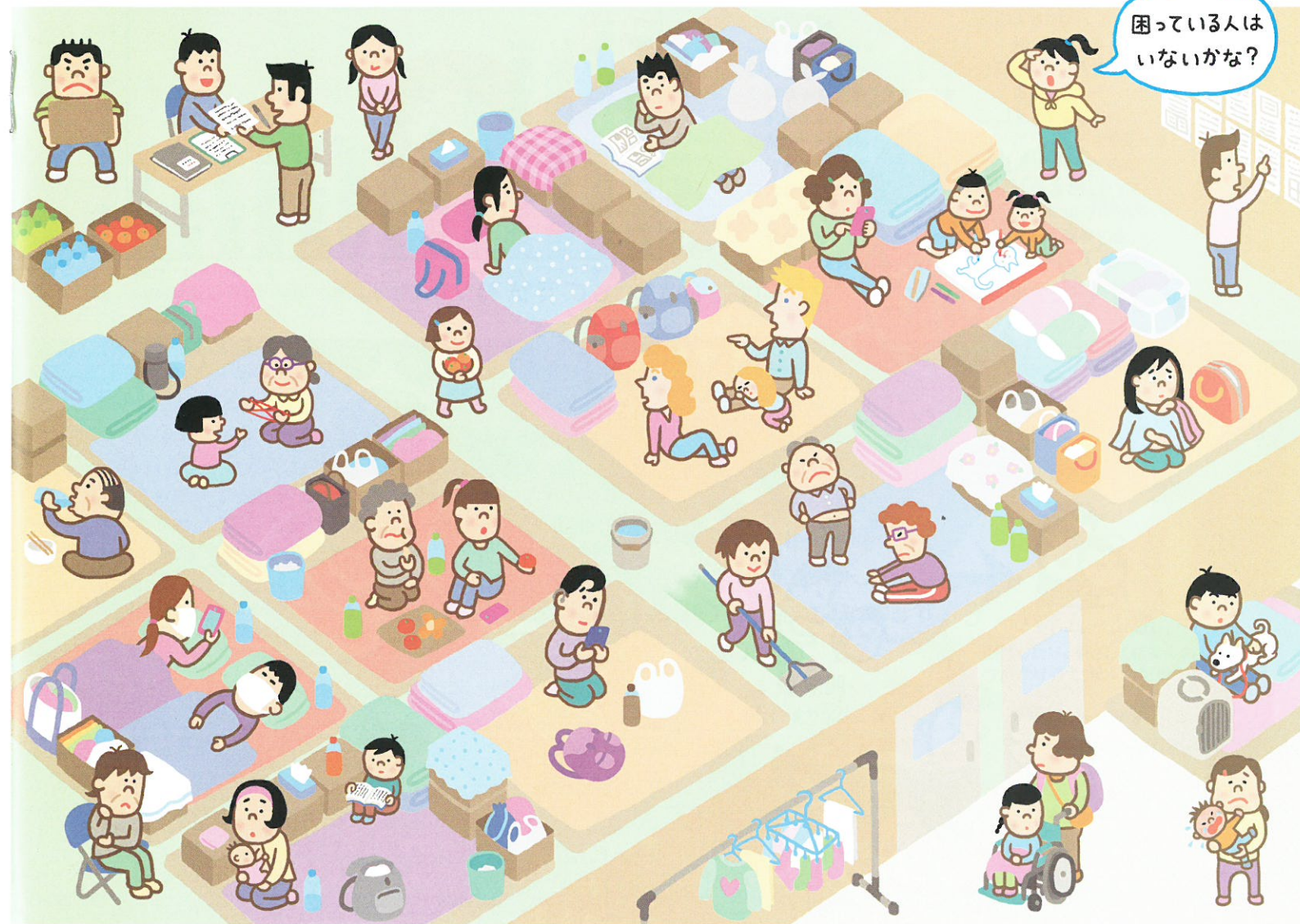
社会のリーダー的存在の女性割合をOECD加盟国の平均と比べると、その低さが際立っています。人口の半分を占める女性の意見が十分に反映されているとは言えない状態です。

避難所のなかで困っている人を見つけよう

キーワード

地域防災力

災害時の避難所は、さまざまな人がともに生活する場所です。だれか困っている人がいないか考えてみましょう。



■こんなふうに困っている人はいないかな?

- 赤ちゃんにおっぱいをあげているお母さん
- 着替えをしている女性
- 泣いている子どもと女性
- 耳の不自由な人
- 日本語がわからない外国人
- ペットをつれた人
- 車いすの人

■ほかにもこんなことはどうでしょうか?

- 人目につくところに洗濯物干場がある
- 係が男性だと女性が生理用品の支援物資をもらいに行きにくい
- 女性が横になったすぐ隣に男性が寝ている
- 高い仕切りがないのでプライバシーが守られない

災害時の避難所で、みんなが安心して過ごせるために、女性や障がい者などさまざまな人の意見や困りごとを知り、必要な配慮をすることで地域の防災力を上げていきましょう。

災害ミニ知識

食品・日用品	少し多めに備えて日常のなかで消費していく「日常備蓄」を実践しましょう。
携帯ラジオ	手まわし充電機能付きが便利。スマホを充電できるタイプもあります。
保温アルミシート	雨風をしのぎ、身体が冷えるのを防ぎます。
食品用ラップ	食事の時に皿に敷いたり、出血時の止血にも使えます。
防犯ブザー	災害時は暴力や性犯罪は発生しやすくなります。身を守るために備えましょう。

DV 悪いのはあなたではない

キーワード

支配とコントロール

あなたが怖いと感じたら、それはDV



1 夫は、ささいなことで突然怒ります。私にも悪いところがあると思いがまんしてきました。

2 最近、子どもの様子がおかしいことに気づきました。もしかして、私が殴られているのを見ているから…。



3 思い切って電話で相談したら、DVは、子どもへの虐待だと言われショックを受けました。



4 子どものためとがまんしていたのは、本当は子どものためになっていなかったんです。

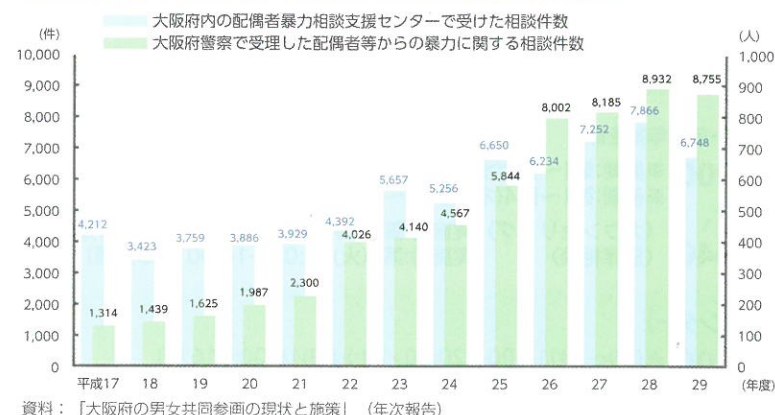


ドメスティック・バイオレンス(DV)の言葉は、広く知られるようになっていますが、今も多くの方が被害を受けている実態があります。

暴力の種類は様ざま

殴る、蹴るだけでなく、暴力のかたちは様ざまです。受けた人が恐怖を感じる行為は、すべて暴力にあたります。

大阪府におけるDV相談件数は、この10年間で約3倍に



暴力は、身体的、精神的、経済的、性的な様ざまなかたちで起こっています。

check

- 殴る、蹴る
- 物を投げつける
- 大声でどなる
- 実家や友人とつきあうのを制限する
- 電話や手紙を細かくチェックする
- 何を言っても無視する
- 人前でバカにする
- 生活費を渡さない、お金を取り上げる
- 働くことを許さない
- 大切にしているものをこわしたり、捨てたりする
- 子どもに危害を加えると言っておどす
- 見たくないのにポルノビデオを見せる
- 嫌がっているのに人前でバカにする
- 避妊に協力しない
- 中絶を強要する

力による支配とコントロール

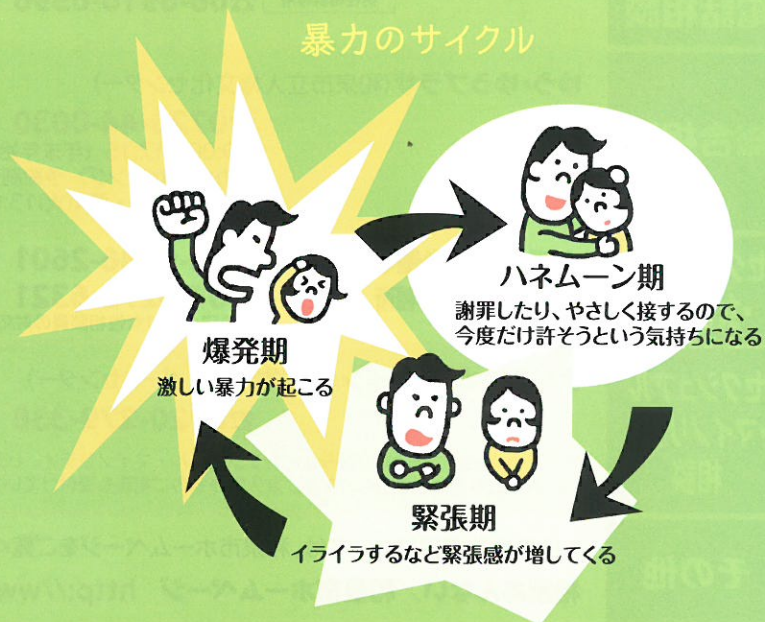
DVは相手の人格を否定して、支配しようとする行為です。暴力はそのために使われる手段で、殴る、蹴るといった暴力だけでなく、暴言やおどし、性的な行為の強要、自由な行動の制限、お金を自由に使わせないなど、加害者はあらゆる手段を使って被害者をマインドコントロールしようとするのがDVの本質です。これは男女どちらにも起こり得ることで

なぜ、逃げ出せないのか

DVを受けている被害者は、逆らったり、逃げたりするともっとひどいことをされるという恐怖と不安から逃げる気力と機会を失っていきます。自分に自信をなくし、無力な状態に陥ってしまいます。

また、暴力はいつも続くわけではなく、やさしくされるときもあると、暴力がなくなることに期待をもちます。この暴力のサイクルが、DVから逃れにくい理由のひとつになっています。

暴力のサイクル



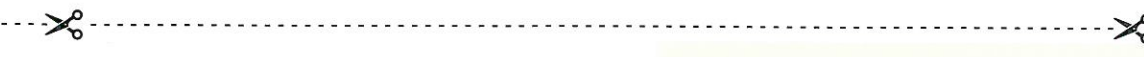
DVと児童虐待(面前DV)

子どもの前で起こるDVは児童への心理的虐待にあたります。児童虐待全体の半数以上を占める心理的虐待のうち、その半数以上は子どもの前で起こるDVです。これを面前DVと言います。子どもに直接暴力をふるわなくても、DVの環境は常に緊張感を強いられる

いる状態です。

子どもは心に大きな傷を受けて、自分を責めたり、自分を大切に思えなくなったりすることがあります。

また、子ども自身が暴力をふるうようになることもあると言われています。



Support card サポートカード

万が一に備える

- どこに逃げるか、日頃より考えておく。
- 相談機関の電話番号を持っておく。
- 常にくらかの現金を備えておく。
- 家から持ち出すものを、友人宅などに預けておく。
- 相談員との定期的な連絡で状況を伝えておく。

家を出るときは

- ◎近くに逃げない。
- ◎居場所の手がかりを残さない。
- ◎携帯電話のGPS機能を切っておく。
- ◎できる限り親や友人等にも居場所を連絡しない。
- ◎居場所の近くで銀行の利用や手紙を出さない。